



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2017~2018

例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/山田 俊郎
幹事/西井 健之
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2511回例会 2018年2月27日(火) 天候 晴

— 3月は水と衛生月間 —



例会予定

- 3月6日(火) 会員卓話 「ロシア旅行」 何川 高会員
- 3月13日(火) 会長エレクト研修報告 林 裕行会長エレクト
- 3月20日(火) 会員卓話 竹内 敏明会員
- 3月27日(火) 外来卓話 三村建築板金 代表者(建築板金師) 三村 高司様

進行担当

[樋口SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者

[山田会長]

ゲストスピーカー 飯島 照仁様(茶室設計士 裏千家)
小河 正行様(茶庭師 裏千家)
津 RC 辻 正敏君 西出 誠君
津北RC 小野 欽市君 柄山 邦明君

出席報告

[内田委員]

2月27日 出席率 48名中 37名 70.08%
2月6日 修正出席率 48名中 44名 91.67%

ニコBOX

[平出委員]

小河 正行様(裏千家 茶庭師) だんだん皆さんの顔を見るのが楽しみになって来ました。
辻 正敏君(津RC) 貴クラブの今西さんに大変お世話になっています。ありがとうございます。今後共よろしく願いいたします。
西出 誠君(津RC) メイクアップにおじゃましました。本日はよろしく願いいたします。
小野 欽市君(津北RC) メイクアップでおじゃましました。途中退席お許し下さい。
柄山 邦明君(津北RC) メイクアップでおじゃましました。宜しく願いします。

会長報告

[山田会長]

◆「教えることの何と難しいことか」
教わる側は、ただ教えられたことを吸収して身に着ければいいわけですから、受身の態度でいいのですが、教える側はそうにはいきません。人に教えるには俗に「3倍理解していないといけません」レベル感とでも言いましょうか。これが分からないと、いくら高尚な話をしても理解してもらえません。かの福沢諭吉は、慶応義塾の学生に「サルにでも読ませるつもりで書け」と教えていたとか。もう一つは、教える内容については、なぜそうなのか、その理由や根拠を理解していることです。そうでないと、質問に答えることが出来ません。「従来からこのようなやり方です。」というのは底が割れてしまいます。我々の仕事も人に教えらる水準まで習熟することで、ようやく一人前になったと言っているのではないのでしょうか。

幹事報告

[西井幹事]

- ★ 3月ロータリーレート 1ドル¥108
- ★ 4月14日(土) 地区研修協議会の件
- ★ 羽根昌江氏入会の件
- ★ 例会変更 1件

セミナー報告

- ①新会員研修セミナー [平出会員]
2月12日(祝・月) 於: 名鉄グランドホテル
出席者: 伊藤 仁・平出昌広会員
- ②職業奉仕研修セミナー [千原会員]
2月25日(日) 於: 岐阜都ホテル
出席者: 栗田 明・松田英明・千原一典会員
- ③親睦家族旅行の件 [千原会員]
新潟津南RC合同企画:
4月21日(土)~4月22日(日) 1泊2日
於: 美ヶ原温泉

山田 俊郎君 茶室設計士 裏千家 飯島照仁様、
外来卓話よろしくお願ひします。
西井 健之君 茶室設計士 裏千家 飯島照仁様、
本日の卓話楽しみにしております。
栗田 明君 飯島先生、お忙しい中よくお越し頂
きました。よろしくお願ひ申し上げます。
今野信太郎君 茶室設計士 裏千家 飯島照仁様を
お迎へして。本日の卓話よろしくお
願ひ申し上げます。

薄井 美弥君 飯島様、お話しごく楽しみにしてお
りました。茶室建築は私の長年の夢
です。いつの日かいつの日か…。
茶室設計士 飯島照仁様をお迎へして、
伊藤 仁君、千代延郁男君、日南田隆司君
千原 一典君、伊藤 孝行君、吹戸 研一君
林 裕行君、日比 隆幸君、家田 吉成君
土田 研輔君、山本 哲也君、竹内 敏明君
佐々木 喬君、岡部 宏司君、伊藤 歳恭君
奥田 邦雄君、鈴木 康義君、大川 吉崇君

外来卓話

利休の美意識 — 茶室と露地 —



茶室設計士 裏千家 飯島照仁様

千利休はわび茶の大成とともにそれに適った茶の湯空間を確立しました。そしてその美意識の根底にあるものとは、「客に最善の心を尽くし、ともに茶を喫する」ということがまず主眼にありました。これは拍子抜けするほど素直で当たり前のことです。しかしこの点が利休時代から時が過ぎ、何時しか茶室建築において置き去りにされてきているように思えてなりません。

利休が主客を想い創意したわび茶のための「黒楽茶碗」や「利休形の棗」、「利休好みの釜」など利休が採り上げた道具は何れも使い勝手がよく簡素、優美であり凜としたものが多いのです。これらの道具を念頭において、その舞台である茶の湯

空間としての利休の好みや空間創造における美意識に注視するならば、そこにはある種道具と共通しているものが認められます。利休が確立した茶の湯空間は、周知の通り基本形としての四畳半を重視しながら、そこから不要と思われる部分を極めて削ぎ落とした二畳ほどの美の凝縮空間とも言えます。それは茶の湯の進行に適っていることは言うまでもなく、客に徹底して最善の心を尽くすという工夫が随所にみられる茶の湯者の入念な空間創りと言えます。

今回は、利休の美意識を中心に構成された茶の湯空間に焦点をあて、招いた客に最善を尽くした利休の意匠の真意について解説を試みたいと思います。

例会変更のご案内

桑名中央RC 3月30日(金)特別休会 ※ビジター受付はご容赦下さい。
4月6日(金)→7日(土)18:00 ホテル花水木にて 家族会・観桜例会のため
※ビジター受付は、桑名シティホテル1Fロビーにて12:00~12:30まで行います。
5月4日(金)法定休日 ※ビジター受付はご容赦下さい。
5月11日(金)→12日(土)18:00 ホテル花水木にて 桑名中央RC創立25周年記念のため
※ビジター受付は、桑名シティホテル1Fロビーにて12:00~12:30まで行います。